



自分の声でインターネットにアクセスする「Vポータル」。簡単に言えば、0570-0033-03に電話をかけて、インターネット上にある音声ファイルを、「はい」や「いいえ」という声で操作しながら楽しむというものだ。そして、この新しいメディアVポータルは、今まさにインターネット黎明期のような様相を呈し、さまざまなVポータル専用コンテンツが生まれようとしているのだ。ただし、そこは新しいメディア。まだ、誰もどのようなコンテンツがキラコンテンツになるのか、正解をつかめないでいる混沌とした状況だ。ここVポータル企画道場では、そのようなカオスの世界にあえて身を投じる、勇気ある「道場破りたち」を紹介していく。

Vポータル企画道場!

得意技は「占い」コンテンツ

「占い」。これはどのメディアでもぜひラインナップに加えたいコンテンツだ。テレビばかり雑誌ばかり、もちろんインターネット上にも多くの「占い」コンテンツが溢れ、どこにいっても「キラコンテンツ」としてはやされるジャンルになっている。

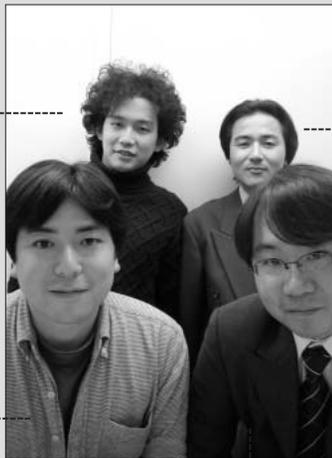
今回紹介する「道場破り」メディア工房は、そんな「占い」を得意分野としているコンテンツプロバイダーで、現在Vポータルに「12星座占い」「四柱推命占い」の2つのコンテンツを提供している。彼らが、「占い」コンテンツを提供しているのは、Vポータルだけでなく、プロバイダーなどが運営するポータルサイトや企業サイト、iモードサイトやEZwebサイトなど。変わりどころでは山手線車内の乗降ドア上部にあるディスプレイや某テーマパークのイベントスペース内の情報端末にも「占い」コンテンツを提供しているのだ。しかし、これらは「絵」で表現するコンテンツだ。「声」で操作するメディア、Vポータルに進出した際に戸惑いはなかったのだろうか？

今月の道場破り!

【株式会社メディア工房】

「占い」を中心にして、インターネットコンテンツはもちろん、iモード、EZwebそして店舗端末にまでコンテンツを提供している、「デジタル占いの大御所」的存在の会社だ!

システムエンジニア
馬原賢吉さん
エンジニアの総まとめをしている柿沼さんの右腕的存在。VXMLに関してはメディア工房で1、2を争う知識を持っている人材だ。サーバーなどシステムまわりの担当もしている。



システムエンジニア
林 靖さん
Vポータルコンテンツの開発者、林さん。悪戦苦闘して取得したVXMLの知識を活かして、新たなコンテンツ作りを目指している。携帯コンテンツなども開発するオールマイティエンジニアだ。

システムエンジニア
柿沼規夫さん
エンジニアの総まとめを担当する柿沼さん。ひと癖もふた癖もあるプログラマーたちを相手に、それを上回る個性で対抗しています。

コンテンツプロデューサー
加地啓史さん
メディア工房のVポータルコンテンツを企業に売り込んだり、そのためにはコンテンツをどのようにすれば良いかなどを考えるプロデューサー。Vポータルの未来を背負う。

VXMLに悪戦苦闘

メディア工房のシステムエンジニア、柿沼規夫さんは「実はメディア工房の最初の仕事は、某携帯電話キャリアの携帯電話利用者向けに、音声で応答する占い『鳥海伯翠のバーチャル占い』の配信サービスを行ったものなのです。設立時に音声コンテンツを手掛けていたので、最初にVポータルで音声で操作するコンテンツを作ると聞かされたときには、さほど戸惑いはなかったですね」と説明してくれた。

ただ、実際にコンテンツを作り始めてからはそう簡単にはいかなかったようだ。特にメディア工房は、約1年前、つまりVポータルが誕生してすぐに、コンテンツプロバイダーとして参入してきた企業だ。まだ、Vポータルでコンテンツを作る際のノウハウが十分になく、簡単にVポータルコンテンツを作れる「Vポータルエディター」も存在していない。そうなると、やはりVポータルコンテンツの開発言語VXMLにいちから取り組まなければいけなくなる。「実は『Vポータルエディター』が憎々しくて(笑)」とい

うのは先のシステムエンジニア柿沼さんだ。「最初はVXML言語にも慣れていなかったうえに、弊社が設立したときに手がけた『鳥海伯翠のバーチャル占い』以来、音声コンテンツから遠ざかり、インターネット上のコンテンツなど“絵”中心のコンテンツを作っていましたから、特にコンテンツがうまく動くかどうかの確認のところまで手間取りましたね。インターネットのコンテン

ツなら、ブラウザを立ち上げて、コンテンツが正常に動くかどうかをチェックすればいいのですが、Vポータルのコンテンツの場合はいちいち電話をかけてコンテンツが正常に動いているかどうかを確認しなければいけない。これが、意外と面倒なうえに、コンテンツが動いてない場合、僕の喋った言葉をうまくVポータル側のサーバーが認識していないのか、それともコンテ

メディア工房が手掛ける占いサイト!



一件300円で利用できる、恋愛専門の「恋愛の極意」。



一件300円で、未来、運命を占ってくれる「紫微斗数占星術」。



「イーチャロット」は64枚のイーチャロットカードを使って、人間関係などを占ってくれる。一件300円。

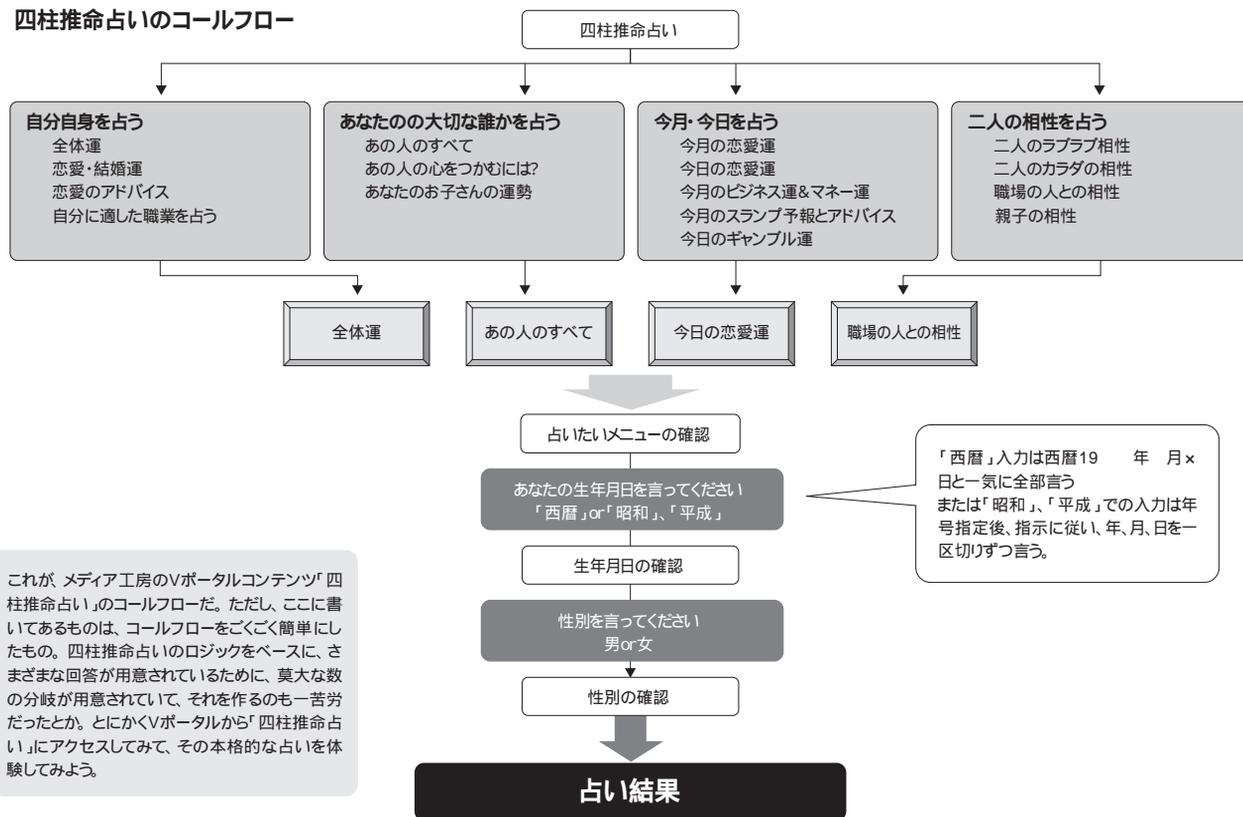


恋愛運、仕事運などを占ってくれる「秘法! チベットの占い」。



白魔術、黒魔術を利用するのが特徴の「神秘のババの占い」。

四柱推命占いのコールフロー



これが、メディア工房のVポータルコンテンツ「四柱推命占い」のコールフローだ。ただし、ここに書いてあるものは、コールフローをごくごく簡単にしたもの。四柱推命占いのロジックをベースに、さまざまな回答が用意されているために、莫大な数の分岐が用意されていて、それを作るのも一苦労だったとか。とにかくVポータルから「四柱推命占い」にアクセスしてみて、その本格的な占いを体験してみよう。

ツのプログラム自体に問題があったのか判断しにくいなど、なかなか手間取ってしまいました(柿沼さん)。コンテンツプロデューサーの加地さんは「チェックの際に誤認識が多くなると、コンテンツを操作する言葉が投げやりになってくる。でも、意外と投げやりに喋ったほうが、認識率が高くなったりしていましたね(笑)。とにかく、サービス開始までは開発者たちはVポータルコンテンツの開発に、日々悪戦苦闘をしていましたね」と、コンテンツ公開当時の苦勞を話してくれた。

Vポータルのコンテンツバンクになる

もちろん、公開当事にこれだけの苦勞をただけあって、今のメディア工房には

VXMLに関するかなりのノウハウが溜まっているという。「確かに『Vポータルエディター』は簡単にコンテンツを作れるという点で優れたものだと思います。ただ、もっと複雑なコンテンツを作ろうとした場合、やはりVXMLに関する知識が必要になる。それを僕らは獲得しました」と柿沼さんは言い、加地さんは「そのノウハウを生かして、Vポータルでコンテンツを展開したいと思っている企業さんの手伝いをするということは可能だと思います。自社では難しい複雑なコンテンツなどを私どもで作らせてもらう。つまり、これまで獲得したノウハウを元に、Vポータルのコンテンツバンクになる。そんなつもりで今後はVポータルにかかわっていきたいですね。」
実際、メディア工房は数社のVポータル



今回の道場破りの居城は赤坂のビル内にある。ここで開発者たちは日々悪戦苦闘していたのだ。

コンテンツを制作し、そのなかでさらなるノウハウを蓄積中だと言う。この試みが成功すれば、初のVポータルコンテンツ制作のプロが誕生するかもしれない。



今日の道場破りから、コレを学びました!

“道場破り”たちから、われわれインターネットマガジンが制作しているVポータルコンテンツ「自分育てゲーム」に活かせるアイデアをバクろう……いや、もとい勉強させてもらおうというこのコーナー。「自分育てゲーム」の技術担当荒井がメディア工房から学び倒してみるぞ。さて、このメディア工房といえば、なんといっても「占い」コンテンツのプロじゃな。芯にしっかりとした得意分野をもっているから、それをベースにさまざまなメディアに進出できているようじゃ。われわれのインターネットマガジンも、そういう意味では「インターネットに

関する情報」という点で、現在雑誌というメディアのみだが、ノウハウは蓄積してあると思うぞ。ということは……「自分育てゲーム」をやめて、得意分野である「インターネット情報」に特化したコンテンツを作っていくのがいいのか? それに、メディア工房はコンテンツ開発の最中にVXMLに関する技術力をメキメキとつけていったようじゃ。ここも見習わねばのお。そういえば、12月からVポータルは一部通話料値下げ&FOMAでも聞けるようになった。これでアクセスも急増するだろうから、しっかりコンテンツ開発に励むのじゃ!

- 一、技術で勝負できるようになれ!
- 二、既存のコンテンツ作成ノウハウを活かす
きれ!



続々道場破り中!



今日現れた道場破りたち紹介!

新しいメディアVポータル。現在、このメディアに殴りこんでいるコンテンツプロバイダーが
続々現われている。このコーナーでは今後続々と殴りこんでくる“道場破り”たちを紹介して
いくぞ。これからVポータルを盛り上げていくのはこの人たちだ!

[株式会社テルヤ]

株式会社テルヤは、「100円! TRY」などモードのコンテンツを手がけるコンテンツ開発会社だ。ほかにも元X JAPANのリーダー「YOSHIKI」の情報を配信するサイト「YOSHIKI mobile」をマルチキャリアで展開している。「YOSHIKI mobile」では本人のメッセージや楽曲の着メロを提供しているがユーザーからの意見として「YOSHIKIの生の声を聴きたい」「新曲をいち早く聴きたい」という要望が多く、それを実現するために、Vポータルでのコンテンツ配信に意欲を注いでいる。「ファンにとって一番

大事なのは、YOSHIKIの作り出す『音』です。だから文字で伝えるよりも『音』で伝えた方がいい場合もある。Vポータルはまさにピッタリのシステムです」と開発責任者の漆畑雅美さん。



私たちが作っています。静岡に居を構えるテルヤは、静岡から全国に向けて、コンテンツを発信していくと意気込む。 www.teruya.co.jp

[株式会社クワニー]

株式会社クワニーはインターネット上で映画批評サイト「映画瓦版」やお料理サイト「ポットラッククラブ」を展開しているコンテンツプロバイダーだ。同社がVポータルに殴りこむ

際に携えたのがインターネット上にもある「れんドラ110番」というコンテンツ。これは、約400文字でテレビドラマの1話分のあらすじが聞けるというもので、好きなドラマを見逃してしまった人にはありがたいコンテンツだ。では、なぜ「映画瓦版」や「ポットラッククラブ」ではなく「れんドラ110番」がVポータルコンテンツに選ばれたのか? 「400文字で、1コンテンツが完結しているのだからVポータルコンテンツに適していると思ったからです」とは開発担当の佐藤章弘さんだ。



私たちが作っています。大阪に居を構えるクワニーはインターネット上では知る人ぞ知るコンテンツプロバイダーだ。 www.kwany.co.jp

登録会員があらかじめ興味のある分野を選択し、受け取りを承諾した分野での電子メールを送信する「フルーツメール」、完全クリック保証型のバナー広告配信サイト「THE広告.COM」、懸賞情報を掲載し、さらにメールマガジンとしてその情報を会員に送ってくれる懸賞BOXなどを手がけるアイブリッジ。同社が来年からVポータルで展開するのは、得意技の「日替わり懸賞コンテンツ」だ。MSNやエキサイトにもコンテンツを提供している同社だが、VXMLには、先のメディア工房同様苦戦



私たちが作っています。今回は顔出しNGということで、懸賞BOXのトップサイトを紹介します。 www.kenshobox.com

した模様。ただし、「NTTコミュニケーションズの技術サポートの人ががていねいに教えてくださったので、何とか作成できました」というのは開発担当の橋本剛さんだ。



私たちが作っています。AD-COMは京都在住の会社。京都に住む人しか知らないスポットを多く仕入れているぞ。 www.ad-com.co.jp

株式会社AD-COMは、京都の観光スポットを紹介するサイト、「タウンナビ京都」を手がけているコンテンツプロバイダーだ。Vポータルで提供するものも、この「タウンナビ京都」制

作で培ったノウハウと情報を活かした、京都の観光ガイドになる予定。もちろん有名な神社仏閣などの観光スポットが網羅されていることは言うまでもないが、AD-COMでは将来的には、京都に住んでいる人間の視点を十分に活かし、本当に良いお店、観光スポットを厳選して紹介してくれるコンテンツにしたいとのことだ。京都に行くと、観光スポットが多すぎて、どこに行ってもわからない……となったとき、これからはVポータルで観光情報がゲットできるようになる。

[アイブリッジ株式会社]

[株式会社AD-COM]



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp